



来たれ！未来の環境リーダー



こんな問題に取り組んでいます

アジア環境リーダー育成プログラム(APIEL)は、21世紀の地球環境問題の解決に積極的に貢献する「環境リーダー」を創出するために、東京大学で初めて「環境リーダー」認定証を授与するプログラムとして2008年に誕生しました。

APIELの目的は、世界の環境問題のグローバルな側面を理解しつつ、アジアにおける環境問題の解決能力を持つ人材を育成することです。

APIELが目指す「環境リーダー」とは

- ◆ 地球および地域の環境問題の認識と、その解決に向けた提案ができる学際的知識と専門的応用力を修得すること
- ◆ 自然科学分野と人文社会科学分野の思考・知識・専門的スキルをバランスよく身につけること
- ◆ 環境問題を抱えるアジアの現場で、実践的な判断力、行動力、協調性を磨くこと
- ◆ 国際社会で議論、交渉できるコミュニケーション力とリーダーシップを養うこと、などです。

関連展示: サステナビリティ学教育プログラム(環境棟3階ラウンジ)

連絡先: 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 環境学研究系
アジア環境リーダー育成プログラム

小貫 元治 <onuki@k.u-tokyo.ac.jp >

図: APIELの共鳴型環境リーダー育成ネットワーク



↑議論中心の講義風景



海外での環境フィールド演習→